

重点課題

【課題1】 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
 (設問1四(1)ウ) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 (平均正答率 22.7%)
 「関心」を「感心」と誤答している児童が 65.3%。

【課題2】 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができる。(設問1三) 書くこと (平均正答率 29.3%)
 文章全体の構成を踏まえた上で、それぞれの段落の内容を捉え、問題の条件に沿った内容を書いていない児童が 49.3%。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 ・国語辞典や漢字辞典を使って、新出漢字の読み方や意味、熟語などを調べる活動を取り入れる。
 ・家庭学習で、漢字のもつ意味を考えた文づくりや同音異義語を使った文づくりを取り入れる。

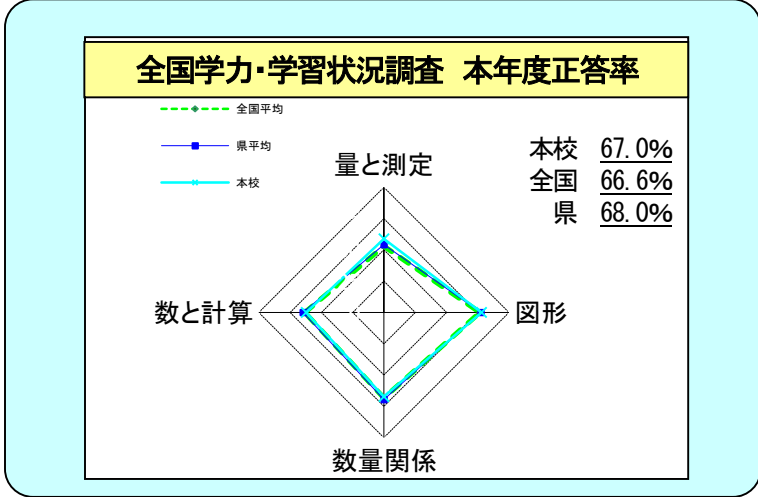
【課題2】 ・読むことと書くことを一体化した単元構成を工夫する。
 ・説明的な文章において結論を捉え、それを基に自分の考えを書く活動を設定する。
 ・筆者の表現の仕方から、自分の考えが明確に伝わる文章構成について考えさせる。
 ・自分の考えの根拠となる引用の仕方について指導する。
 ・目的や意図、相手に応じて書く活動を設定する。

※ 小中一貫した取組については、個々に考えを書かせたうえで意見交流の場を効果的に設定し、目的に応じて必要な内容を整理して書かせる指導を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4・5年生 漢字テスト		4・5年生 全国類似問題	4・5年生 漢字テスト
目標値				80%		80%	80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年生 小テスト	5年生 単元テスト	5年生 小テスト	5年生 H31「全国学力」
目標値				80%	80%	80%	70%
実施後数値							

来年度に向けて



重点課題

【課題1】示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することができる。
 (設問3(2)) 数と計算 (平均正答率 28.0%)
 「商」の言葉を使わず、「わられる数」と「わる数」の言葉だけを使って除法の性質を説明している誤答の児童が 24.0%。

【課題2】示された除法の意味を理解することができる。
 (設問3(4)) 数と計算・数量関係 (平均正答率 45.3%)
 1800÷6は1m分ではなく、6m分の代金を求めていると誤答している児童が 30.7%。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】・商が同じになる除法の式を複数提示し、除法に関して成り立つ性質を児童が気付けるようにする。
 ・自分が見つけた性質について、算数用語を使ってまとめる場を設定する。
 ・工夫して計算する問題では、計算の仕方について除法の性質を使って説明する場を設定する。

【課題2】・二量の関係を関係図や数直線図に表すことで立式の手立てとする。
 ・問題場面と図や式を関連付けながら説明する場を設定する。
 ・除数が整数になるよう工夫して計算する際も、具体的な場面に当てはめて説明する場を設定する。

※ 小中一貫した取組については、自力解決の後に、算数・数学科の用語や図・式を関連させて解き方をお互いに説明させる指導を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4年生 単元テスト		4年生 単元テスト	4・5年生 全国類似問題	4・5年生 H31「全国学力」	4年生 学年末テスト
目標値		80%		80%	70%	70%	80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年生 全国類似問題	5年生 単元テスト	5年生 H31「全国学力」	5年生 学年末テスト
目標値				70%	80%	70%	80%
実施後数値							

来年度に向けて

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査)

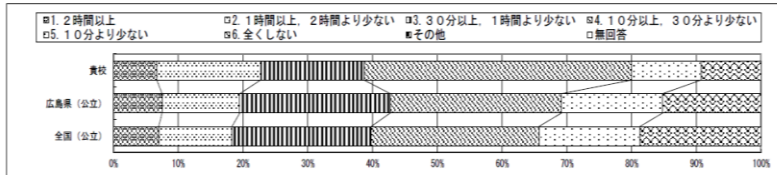
(1) 生活・学習

授業では、自分の考えを積極的に伝えています。

19 授業では、自分の考えを積極的に伝えています。



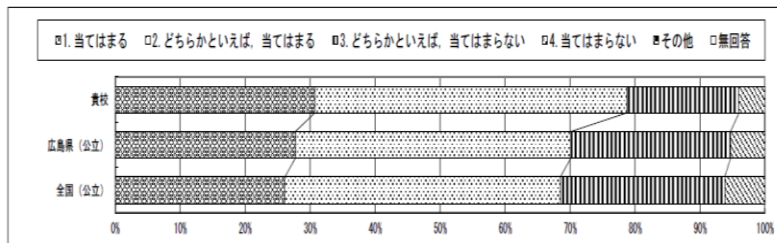
学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間読書を読みます。



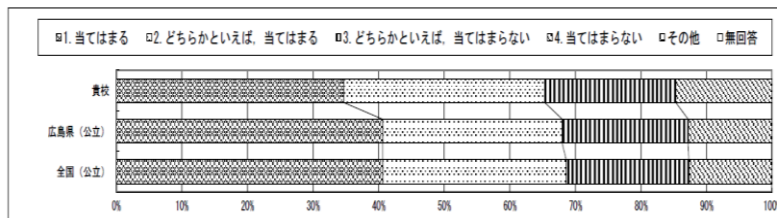
	児童の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
基礎・基本	授業で、自分の考えを積極的に伝えることに課題がある。66.1%	自分の考えを書く時間を設定したり、ペアトークを設定したりすることで、自信をもって発表できるようにする。	5年	75%	児童アンケート調査	12月	
全国	普段(月曜日から金曜日)、学校の授業時間以外の、1日当たりの読書時間に課題がある。30分未満の児童61.3%	学習との関連を図った学級文庫の定期的な入れ替え、読書カードの活用、お薦めの本の紹介などを通して読書習慣の定着を図る。	6年	30%	児童アンケート調査	12月	

(2) 教科

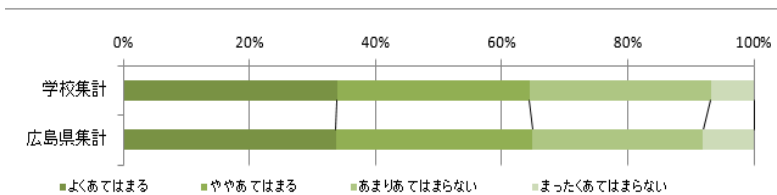
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示すなど、話や文章の組立てを工夫しています。



算数の勉強は好きです。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	基礎・基本	分からない言葉や漢字を、辞書を使って調べることに課題がある。61.0%	5年	75%	児童アンケート調査	12月	
	全国	自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示すなど、話や文章の組立てを工夫することに課題がある。78.7%	6年	85%	児童アンケート調査	12月	
算数	基礎・基本	問題の解き方や考え方を絵や図などに表して考えることに課題がある。59.3%	5年	75%	児童アンケート調査	12月	
	全国	算数の授業が好きと答えた児童が、県平均・全国平均より低いことに課題がある。65.4%	6年	75%	児童アンケート調査	12月	
理科	基礎・基本	自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりすることに課題がある。64.4%	5年	75%	児童アンケート調査	12月	